川口町公民館報
公民館報
第30号
発行人 関 平吉
編集人 金子 真
印刷所 山勝堂印刷所

公民館は眠っていない

公民館の活動が開始されてから、すでに十年の才月が流れたようである。

「公民館」と称され、「今までの町や村のわずかな色どりにしかすぎないなどとやゆされたり、公民館のなしてきた事はきわめて多い。時には固定し、時には伸び悩みを示して来たけれども、全国の村々に一筋の明かるい光をもたらしはじめた功績は実に大きい。

といえど、最近みずからの内部にも外部にも何となく息ずまるような苦しさをおぼえはじめたようである。公民館本来の使命は何か。もうここでそろそろ公民館のあり方に再検討を加え、もう一度各自の足もとを顧らしてみてもよさそうなところである。

公民館の記録を整理してみると十年に行われた行事はきわめて多い、向けられた視野もかなり広く、公民館活動の第一期として「よくなされたものだ」と感嘆の声すらあがるのである。にもかゝわらず、その行事に同じようなくり返しがあれども手を出し、これにも手をつけるといった総花式が多く、けつきよく「何もならなかったのではないか」などと皮肉を起こさせがちなのは、一つに公民館はいろいろの事業を推し進めるものだという考え方が大衆に勿論、それを推し進める側にも存在したからではないか。

「公民館は卒業して実行してくれるの」とおっかたの人は思っている。上からの指令がある間は何も行われなくなる、と同時に模範的な落生モデル地区なども黒々と蚊、ハエのたかる台所となってしまった例もある。ここで考えなければならぬことは、つまり「公民館は何かしなければならぬ」という考え方が公民館の中心となる人達の心の中に少なからずあったように思われる。やらねばやった方がよい。けれども常に「指導」という上からの変えによって事が展開されることは日本の民衆の永遠の非自主性を育成することになりはしないか。

公民館活動は今や一転機に到達したようであるが、暗夜を手さぐりで歩いて来た過去の道程にライトを当て、それが正しく把握されたなら、今後の公民館の歩む道は自ら開けてくる。

ともあれいちばんむつかしいのはわれわれのうちの古い考え方、古い物の見方から抜け出すことである。そしてそれはやっぱりわれわれの手で開拓しなければならない。

私ども川口郷の教員協議会では去る五月十日川口中学校の講堂において総会を開催し、次のような事業を決定しました。

一、教職員の視察旅行（警察二回実施）

この実施は他都市の学校を視察し、施設々備の充実状況や地域の実態を知って今後の指導や、計画樹立の参考資料にしたい目的であります。

二、生活指導の研究

私どもは、昭和三十年度と昭和三十一年度の二ケ年にわたって、子供達が社会生活をやっていく上にどのような基本的な行動が必要であるか、またその指導の手順や方法はどうなければならないかを研究したわけでありますが、このことについて、本年度更により深く実践を通じて研究することにいたした次第であります。

三、社会科カリキュラムの研究（主として小学校）

町の各小学校には社会科指導のための指導計画があります。それを更により具体的な郷土の資料を生かした計画にしたいのであります。

四、学年連絡会の開催（年三回）

町内中のおなじ学年の子供達を担任している教職員が一堂に集り毎日の実践の中から起って来た問題をもちより話し合いによって解決し明日への指導の参考とするための連絡会であります。

五、児童徒自治連絡会の開催（毎学期一回）

この会は各学校の子供会、生徒会の代表があつまり、校外における生活の連絡と提携の会であります。特に中学生と小学生との連絡を密にすると同時に切磋琢磨していくべきねらいであります。

六、校長、教頭の研修。

以上が本年度のおもなる事業でありますが、私ども町中の教職員が共に伸び伸び研修し、つつ教育の発展に寄与したいと考えている次第であります。

（文責高野）

公民館審議員会議開かる

昭和三十三年度第一回川口町公民館審議員会議が去る六月四日午後一時より役場で開催された。

昨年の条例改正により二十五名の審議員数が本年度は十三名になり当日十名の出席があり熟心に本年度の事業計画に関する論議が交わされた。公民館活動の中心は各分館にあるのであつて一人一人の自覚が大いに強調された。

選挙

衆議院議員総選挙結果報告

投票所別名	部落名	有権者数 男	有権者数 女	有権者数 計	投票者数 男	投票者数 女	投票者数 計
第一投票所	川口	五五一	五六一	一一二二	四一四	四九九	八一三
第二〃	芝	二六五	二三〇	四九五	二一三	二〇九	四二二
第三〃	西川口	四一九	四七九	八九八	二一四	二〇九	四二三
第四〃	西	五八一	五六一	一一四二	四五五	四四〇	八九五
第五〃	牛ケ島	四五五	四四〇	八九五	二一三	二〇九	四二二
第六〃	相川	二四一	二五四	四九五	二一二	二〇九	四二一
第七〃	荒谷	五六一	五五五	一一二六	四五八	四四〇	八九八
第八〃	和南津	三〇六	三〇一	六〇七	二一八	二〇九	四二七
第九〃	小高	九〇一	九〇九	一八一〇	二一三	二〇九	四二二
第一〇〃	山相川	七六一	七六〇	一五三一	二一二	二〇九	四二一
末沢	末沢	二六六	二六六	五三二	二一二	二〇九	四二一
投票所別名	部落名	男	女	計	男	女	計
第一投票所	川口	三五一	三一六	六六七	三五一	三一六	六六七
第二〃	芝	二六五	二三〇	四九五	二六五	二三〇	四九五
第三〃	西川口	四一九	四七九	八九八	四一九	四七九	八九八
第四〃	西	五八一	五六一	一一四二	五八一	五六一	一一四二
第五〃	牛ケ島	四五五	四四〇	八九五	四五五	四四〇	八九五
第六〃	相川	二四一	二五四	四九五	二四一	二五四	四九五
第七〃	荒谷	五六一	五五五	一一二六	五六一	五五五	一一二六
第八〃	和南津	三〇六	三〇一	六〇七	三〇六	三〇一	六〇七
第九〃	小高	九〇一	九〇九	一八一〇	九〇一	九〇九	一八一〇
第一〇〃	山相川	七六一	七六〇	一五三一	七六一	七六〇	一五三一
末沢	末沢	二六六	二六六	五三二	二六六	二六六	五三二